

バス旅行第5弾

みなさん、こびっと
楽しみましょう!

甲府の秋色魅力を満喫

～「花子とアン」村岡花子の故郷へ～

2014年11月2日



毎年恒例の秋のバス旅行。今回で5回目となりますが、ご参加いただきました皆様、お楽しみいただけましたでしょうか。お天気にも恵まれ、今年は、ぶどうや信玄餅などお持ち帰りのお土産もあり、甲府の秋をこびっと（しっかりと）満喫できましたよね～！皆さん、とてもいい笑顔で写ってます。あれ～、私はどこ？という方はご一報ください。



やりがい 生きがい がんばりがい！！
大きいことも、小さいことも！

佐藤せい子



佐藤せい子事務所

〒422-8008 静岡市駿河区国吉田 4-25-19
TEL: 054-267-2000 FAX: 054-267-2001
ブログ <http://blogs.yahoo.co.jp/sseiko1022>
ホームページ satoseiko.com
メール sseiko@nifty.com



【内部資料】発行責任者
佐藤せい子を育てる会
会長 坪井英明

せい子通信

あなたの声を届けます！市議会議員は地域づくりのレポーター

2015年 冬号 vol.47



迎春



皆様お元気で、新年をお迎えになられた事と存じます。暮れの衆議院議員選挙の結果を皆様は、どう受け止められましたでしょうか。私の政治の原点は、亡母がいつも言っていた「平和な社会の継続」です。フィリピンで実兄を亡くした母は、「戦争は絶対にやってはいけない。犠牲になるのは、私たち庶民だ」と言っていました。もしかしたら、わが息子や孫達が戦場に行かなければならない日本になるかもしれない、何とんでもこれは食い止めなければならないと、私はその思いを一票に託しました。もちろん経済の安定も必要ではありますが、まずは、命・生活を守る平和があってこそこの事です。これからも生活者の視点を大事にして、声を出し続けていきたいと思っております。今年も皆様、叱咤激励ください。どうぞよろしくお願いいたします。

今年は徳川家康公顕彰 400年の記念の年

家康公薨去 400年の今年、家康公に関する魅力や功績、静岡市の歴史を未来に継承するため、市内のみならず世界に向け情報発信していきます。様々な行事が行われますので、是非ご参加ください。

- 1月17日 家康公400年祭オープニングセレモニー
- 3月1日 静岡マラソン2015
- 4月3日～5日 第59回静岡まつり
- 9月18日～27日 駿府天下泰平まつり
- 9月19日～21日 第56回全日本花いっぱい静岡大会

いずれのイベントも、例年の物とは一味違う工夫や、新しい内容が凝らされています。



11月議会



市の施策の外部評価や組織機構改正、基本計画の重点プロジェクトや分野別の基本的な方向性について質問。

世界中から人を集めるMICEの推進にあたり、その受け入れ態勢というべきホテルやコンベンションを行う施設の充実について、その現状や今後の対策について当局の見解を伺った。国際級のイベントの対応のできる施設が不足していることは事実で、今後ハイレベルホテルの必要性を認識し、対応していきたいとの答弁だった。即刻対応していかなければ、グローバルMICE都市にますます水をあけられてしまうと私は認識している。又、静岡市の市史編集について質問。昭和56年でストップしている現状の改善を訴えた。歴史・文化都市を今後形成していくにあたり、避けては通れない、大事なことだとの思いで質問したが、その重要性は認識しつつも実施にはまだ時間がかかりそうだ。

委員長報告

(上下水道教育委員会)

5つの議案は、すべて原案どおり可決された。下水道維持課からの境界確定請求事件の報告、教職員課からの臨時職員の懲戒処分について、及び学校教育課からの平成26年度全国体力・運動能力・運動習慣等の調査の結果について報告を受け閉会した。

2月議会
予定



2/4	議案説明会
2/10・16	本会議
2/17・18	常任委員会
2/20	議案説明会
2/23	本会議
3/3～6・9	本会議
3/11～16	常任委員会
3/20	本会議

『世界に輝く静岡の実現』を掲げ

静岡市第3次総合計画を策定

平成27年度から34年度までの8年間の静岡市まちづくりとなる第3次総合計画『世界に輝く静岡の実現』を掲げた基本構想と基本計画は、この定例会において策定しました。なお、具体的な事業・実施計画は新年度予算と同時に発表されます。



基本構想

1. まちづくりの目標

世界水準の都市への飛躍に向けて、この地に住む人々が誇りを持ち、訪れる人々が憧れを抱くまちを目指し、新たなまちづくりの目標として『世界に輝く静岡の実現』を掲げます。

2. 目指す都市像

徳川家康などに彩られた「歴史と文化」や快適な気候風土に育まれた「健康的な暮らし」は「世界に輝く静岡」を具現化するためにふさわしい要素や可能性といえます。「歴史文化のまち」づくりによる「都市の発展」と、「健康長寿のまち」づくりによる「暮らしの充実」を目指す都市像です。

3. 市政の更なる発展

市政のさらなる展開のために、産業・経済の振興として地域資源の活用により新たな価値を生み出していく「創造する力」による「都市の発展」と安心・安全の確保には地域の課題を解決していく「つながる力」による「暮らしの充実」を目指します。

基本計画

基本計画は基本構想に基づき実施する政策・施策の体系を明らかにするものであり、「時代の潮流」「目標人口」「重点プロジェクト」「分野別の基本的な方向性」「各区の取組」などを明らかにするものです。

平成37年の目標人口は「70万人」

市の将来人口は平成37年には65万3千人と推計され、人口の維持は「静岡市の力」をさらに高めるため、地域の持続的発展を展望する上で極めて重要であり、あらゆる施策を駆使した取組が求められます。そのためには、危機意識の共有化が必要不可欠であり、平成37年の本市の総人口は『70万人』を維持することを目標とします。



重点プロジェクト

目標人口である平成37年に70万人を維持するために、6つの重点プロジェクトに取り組み「世界に輝く静岡の実現」を図ります。

1. 歴史都市

1. 駿府城公園の「桜の名所」づくり、歴史文化施設の整備、駿府城天守閣の再建を目指し市民の協力を得ながら天守台の整備を推進。
2. 世界文化遺産「三保松原」に国内外からの観光客受け入れ、情報発信する「三保松原ビジターセンター」を整備する。



2. 文化都市

1. 東静岡地区に県との連携による賑わいと交流の核となる「文化・スポーツの殿堂」の整備を目指す。
2. 清水港周辺地区に、産学官の連携による海洋文化の拠点づくりや客船誘致やマリナーパークへの回遊性の向上を図るための遊歩道整備・活用を図る。



3. 中枢都市

1. 首都圏からの移住・定住の促進を目指し、雇用・就労の場や住宅の確保教育・子育て、医療・介護など充実を図り、定住人口の増加を目指す。
2. 2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催の合宿誘致や国際会議、全国大会の誘致、広域観光の推進による交流人口の拡大に努める。



4. 健康都市

1. 人々が地域で生きがいを持って暮らし続ける静岡型地域包括ケアシステムの構築、健康寿命延伸の施策の拡充により世界に誇れる健康長寿の都市を目指す。
2. ワークライフバランスに取り組むことで、多様な生き方が選択でき、生きがいや喜びを感じるよう子ども・子育て支援を推進し、子育てしやすい都市を目指す。



5. 防災都市

1. 津波避難施設、防災スマートタウンの整備や南海トラフ巨大地震に備えた災害対応力を強化、大型台風やゲリラ豪雨などによる風水害の発生に的確に対処するため、総合的な浸水対策、土砂災害対策を推進する。
2. エネルギーの地産地消の観点から清水港LNG基地周辺へのエネルギー関連産業の立地促進や再生可能エネルギーの導入・普及促進を目指す。



6. 共生都市

1. ユネスコエコパークの登録された南アルプスや興津川などの清流、駿河湾の恵みなど多彩な自然環境の保全と適正な活用を図り、人々と自然との共生を推進する。
2. 「まちづくりは人づくり」地域コミュニティが有する絆を強化、生涯学習等の推進により、市民と市政との協働による人材の養成を目指す。

